

## 担い手のニーズ把握について

### 1 アンケート調査

#### (1) 調査目的

- ・「担い手の高齢化」「担い手不足」の課題への対応が求められており、地域福祉活動における中心的な担い手を対象として、活動実態やニーズを把握する。
- ・自治会等と連携した日常の見守りや生活支援が求められており、まちづくり組織についても調査対象とする。
- ・平成26年度実施の市社協ヒアリングの結果を受けて、アンケート調査により深掘りする。

#### (2) 調査対象

	対象	件数	備考
1	地区社協委員	440	22地区×20票 代表者から配布
2	ボランティア	1,100	100G×10票 市社協から配布（H25登録者 107グループ、 3,286名）
3	民生委員・児童委員	370	明石市から郵送
4	自治会・町内会	470	明石市から郵送
5	NPO	100	地域福祉に係るNPO
	合計	概ね2,500	

#### (3) 調査方法

- 郵送配布・郵送回収ないしは団体を通じた配布
- 回答の負担を軽減するためにA4版×4頁程度として、質問項目を絞り込む。
- 地区社協委員は代表者から配布していただく。ボランティアは連絡会等の場で配布する。民生委員児童委員は地区定例会で配布、自治会は逡送便で郵送する。

○質問項目

- ・5つの項目で調査票を作成する。

項目	質問	備考
1 属性	性別、年齢、居住地、居住年数	基本属性、所属団体別に集計を行い、属性ごとの特徴を把握
2 活動について	最も活動している所属団体	活動実態を把握
	主に活動している分野	
	活動年数	
	活動を始めたきっかけ	
	活動の印象	
	よかったこと、喜びや楽しさ	活動動機を把握 動機の持続策
3 活動の問題点	対象者と困っていること	対象者と求められている支援を把握
	活動で困っていること	
	担い手を増やす工夫	困っていること、工夫していることを把握
	困ったときの相談相手	インフォーマル、フォーマル連携の必要性、実態、期待を把握
	連携が必要な相手	
4 今後の活動	活動継続の条件	ニーズの把握
	市や市社協への期待	担い手づくりの支援策検討に活かす
	自由意見	

- ・以下の既存調査を参照する。

- ①ボランティア アンケート調査 (H22 (2010) 実施)
- ②総合計画のアンケート ( 実施)
- ③要援護者アンケート (H22 (2010) 実施)
- ④ひとり暮らし高齢者台帳対象者調査 (H25 (2013) 実施)
- ⑤災害時要援護者台帳登録者調査 (H25 (2013) 実施)
- ⑥あかねが丘学園在校生調査 (H25 (2013) 実施)

## 2 ヒアリング調査

### (1) 調査目的

- ・新たな課題に対応していく上で専門職との連携が求められていることから、専門職の要である相談機関等を対象として、現場の実態やニーズを把握する。

### (2) 調査対象

	分類	対象	質問項目
1	相談機関	地域包括支援センター (東部、西部)	①相談状況
2		障害者基幹相談センター	②地域における課題
3		後見支援センター	③地域との役割分担、連携状況、希望 ④計画への要望
4	その他	高校、大学のボランティア	①活動をはじめたきっかけ ②活動で困っていること ③担い手を増やす工夫 ④その他自由意見 等